

議 事 録

開催日時	平成28年7月20日(水) 午後1時30分から午後3時15分
開催場所	新居浜市3階 応接会議室
出席者	<p>1 団体委員 8名 日野委員(会長)、井原委員、片上委員、近藤委員、柴田委員、星加委員、永井委員、堀田委員代理(山内氏)</p> <p>2 関係課所職員 9名 木村市民部長、三沢教育委員会次長兼社会福祉課長、加藤福祉部次長兼介護福祉課長、和田防災安全課長、上野総合政策課主幹、森賀地域福祉課副課長、高橋ごみ減量課副課長、高山防災安全課安全対策係長、石川財政課財政情報係長</p> <p>3 事務局職員 地域コミュニティ課職員 3名 岡松総括次長兼課長、桑内主幹、清家主任</p>
傍聴者	1名
議事内容	<p>1 委員紹介</p> <p>2 平成25年度提言事業の成果検証について (1) 各事業の問題点、改善点の抽出 (2) 新たな取組内容の検討</p> <p>3 意見交換</p>
議事録	議事の概要は、次のとおり。
事務局	<p>お待たせいたしました。定刻が参りましたので、ただいまから、新居浜市政策懇談会第1分科会第1回会議を開催いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日、皆様にお越しいただきましたのは、5/31に開催されました平成28年度第1回政策懇談会におきまして、4つの分科会に分かれ、平成25・26年度提言事業の成果検証を行うことが決定されたことによるものでございます。</p> <p>それでは、まず開会にあたり、木村市民部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
木村部長	<挨拶>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、会議進行の都合上、当第1分科会委員の皆様のうち、どなたかに司会進行役である第1分科会会長をお願いする必要があると思いますが、いかがいたしましょうか。</p>

委員	<p>昨年までコミュニティ再生ワーキンググループの座長を引き受けていただいていた日野会長にお願いしたいと思いますが、委員の皆さんよろしいですか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>日野会長いかがでしょうか。</p> <p><日野会長 了承></p>
事務局	<p>それでは、昨年に引き続き、新居浜市連合自治会の日野会長に第1分科会会長をお願いいたします。</p> <p>では、日野会長、前の会長席にお移りいただきよろしいでしょうか。</p> <p><日野会長 移動></p> <p>これからの議事運営は、会長にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、日野会長よろしくをお願いいたします。</p>
日野会長	<p>本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様には、昨年度、熱心にご議論をいただき、お礼を申し上げます。</p> <p>今年度も引き続き、委員の皆様のお知恵をいただきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
日野会長	<p>それでは、お手元の次第に従いまして、議事を進めてまいります。</p> <p>まず初めに委員の皆様の紹介ですが、各団体における異動に伴いまして、交代されている委員の方もおられますことから、ご出席の委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと存じます。お持ちいただいた第1分科会資料の2ページ目に名簿がございますので、ご覧ください。</p> <p>なお、昨年度までのコミュニティ再生ワーキンググループにおきましては、職員も委員として参加しておりましたが、今回の分科会におきましては、職員はあくまでオブザーバーとしての参加となります。会場の都合上、同じ席に座っておりますが、協議は委員さん8名で進めていただくこととなりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>まず、私は、コミュニティ再生がテーマである第1分科会の会長を務めさせていただきます新居浜市連合自治会長の日野でございます。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、委員の皆さんから、自己紹介をお願いしたいと存じます。</p>
各委員	<p><団体委員の方 順次自己紹介></p>
日野会長	<p>委員の皆さん、ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日出席しております市職員及び事務局職員から、自己紹介をお願いします。</p>
職員	<p><市関係職員及び事務局職員 順次自己紹介></p>

日野会長	<p>ありがとうございました。それでは、議事に入りたいと思います。</p> <p>本題である「平成25年度提言事業の成果検証について」の協議に入る前に、まず、「今年度の第1分科会のスケジュール及び平成25年度政策提言に基づく実施事業の概要など」につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 担当課	<p><資料・パワーポイントにより説明、以下概要></p> <p>今年度の第1分科会のスケジュールにつきましては、平成25～27年度において「コミュニティ再生」をテーマとするワーキンググループで検討を重ね、政策懇談会から提言を受けた内容に基づき、具体的な施策を平成26年度に予算化し事業を実施してきました。</p> <p>「コミュニティ再生」をテーマとする第1分科会は、2回程度の開催を予定しており、今日の会では、お持ちいただいた「新居浜市政策懇談会提言事業評価シート」に基づき、あとで成果検証とともに問題点・改善点の抽出を行い、次回の会議で提言や見直しに対する意見をまとめ、9月の政策懇談会に提案する形となっています。</p> <p>次に、平成25年度政策提言に基づく実施事業の概要について、「コミュニティ活性化事業（意欲のある地域で取り組むソフト事業・花いっぱい運動）」、「防犯灯LED化整備事業費」、「防犯灯維持管理事業」（以上、地域コミュニティ課）、「敬老地域ふれあい事業費」（介護福祉課）、「防犯協会等活動費」、「地域防災力向上推進事業費（防災士活動促進事業・自主防災組織推進事業補助金）」（以上、防災安全課）について、担当課より資料にしたがって説明。</p>
日野会長	先ほどの事務局からの説明に対し、ご質問はありますか。
各委員	（質疑なし）
日野会長	<p>それでは、次に、平成25年度提言事業の成果検証について、（1）各事業の問題点、改善点について及び（2）新たな取組内容の検討の協議を始めさせていただきます。</p> <p>お持ちいただきました政策懇談会事業評価シートに基づき、事務局から説明をお願いします。（1～6ページ）</p>
担当課	政策懇談会提言事業評価シートに基づき、地域コミュニティ課、介護福祉課、防災安全課の順に説明。
日野会長	<p>ありがとうございました。示しております事業評価シートは、あくまで、たたき台（案）として担当課がそれぞれ作成したもので、提言事業の成果検証は、分科会委員の皆さままで決定していただく必要がございます。</p> <p>そのため、主に「4. 事業の評価」と「5. 改善すべき点等」、また、この事業に関連する「新たな取組内容の検討」について、それぞれの事業ごとにご意見やご提案がございましたら発言願います。</p>

資料 3

日野会長	まず、資料 1 ページ目の「コミュニティ活性化事業」についてでございますが、事務局へのご質問やご意見ありませんか。
委員	「意欲ある地域で取り組むソフト事業」について、1 校区平均 1 0 0 万円の交付金とありますが、校区の規模に関わらず一律同じ額ですか。
担当課	このソフト事業は、意欲のある地域からの申請により交付決定しますので、校区によって交付する額に違いがあります。原則は、1 事業につき 3 0 万円が限度額となりますが、大規模校区は事業費がかかるため加算して最大 5 0 万円を限度額としております。
委員	この交付金事業は、当校区で有効・効果的に活用されており、今後も継続して利用し、地域づくりに役立たせていただきたい。当校区においては、自治会加入率を上げるため、自治会活性化実行委員会を設けて検討していますが、なかなか有効策が見当たらないのが現状です。今後も研修をすすめていきますが、他の校区でもよい取り組み事例があれば教えていただきたい。
委員	私が住んでいる自治会では、役員の引き受け手がなく、自治会の存続自体も危うく、自治会活動が停滞しているようです。ただ、大規模災害の備えるため、自治会の防災活動は大切であり、自分でも何とかしたいと考えていますが、何から取り掛かったらいいのか、わからない。どうしたものでしょうか。
地域コミュニティ課	役員のなり手である人材が地域に充たされているかどうかは温度差があります。自治会役員のなり手となる人材がいないと自治会加入率も高まりません。自治会活動の活性化に特効薬はありませんが、この交付金制度を活用するなど自治会の存在意義を高めていくしかないと思われま。また、自治会の加入率が減少している要因の一つとして、高齢者の方が自治会の役ができない、自治会費が払えないなども自治会脱退の理由としてよく聞くので、役や会費を免除する方法を検討するとか、他にはアパート・マンション居住者への加入促進も重要と思われま。
委員	参考になればと思いますが、私の隣の自治会もなり手がなく、解散したいという話があり、自治会がなくなることは困りますので、どうしたものか知恵を絞り、役員の負担を減らすために行事を他の自治会と合同でやってみようということで、まず、防災訓練を合同で行い、一人でも多くの方に参加してもらおう取り組みを進めています。同じ自治会の中だけで相談するのではなく、周りの自治会とも相談して解決の方法を探っていけば道は開けるのではないかと思います。
委員	自治会加入の問題については、当校区でもいろいろ議論をしているが、ごみの問題や災害の問題もありますので、できれば市の条例で自治会加入促進について定めてほしいと思うのですが、それは難しいと聞いております。そのため、当校区では、地域の決まり事、約束を作って、それを地域の住民にお願いしていこうとしております。

資料 3

<p>日野会長</p>	<p>ご意見ありがとうございました。ごみの問題、防災活動などを地域に身近な問題を解決できるのは自治会しかありませんが、そういった問題解決を自治会長一人だけでなく、地域みんながお互い助け合いの精神をもって地域をより良くしていこうということが大切かと思います。</p> <p>この事業につきましては、概ねこの内容で決定したいと思います。</p> <p>次に、資料2ページ目の「防犯灯LED化整備事業費」についてでございますが、事務局へのご質問やご意見ありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>防犯灯の市への移管により防犯灯の管理も手間がかからなくなり大変助かっています。電気代の負担もなくなり、他の自治会活動資金に回すことができるようになり自治会として喜んでいます。</p>
<p>日野会長</p>	<p>ご意見ありがとうございました。この事業につきましては、この内容で決定したいと思います。</p> <p>次に、資料3ページ目の「防犯灯維持管理事業」についてでございますが、事務局へのご質問やご意見ありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>防犯灯については、平成26年度に市の負担でLED化を進めるとともに電気料金が全額市の負担となり、以後、防犯灯の新設についてのみ現行の補助制度を活用することとなっています。ただ、人口減少の社会の中で地域においても空き家が増え、解体するような場合もあり、その場合、家の軒先に設置されている防犯灯は、既設の電柱等に移設しないといけない場合もあります。しかし、この場合、補助対象ではないため、今日お配りされたアンケート（13ページ、補足質問2）にもありますが、防犯灯の移設について、新設と同じ補助をしていただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>日野会長</p>	<p>皆さんからこの件に関して、ご意見をいただく前に事務局からこの件につきまして、補足することはありませんか。</p>
<p>地域コミュニティ課</p>	<p>おっしゃる通り、防犯灯の整備についての補助（コミュニティ施設等整備事業補助金）は、LEDのみを対象とし新設の場合にのみ工事精算額の1/2補助（1基につき上限15千円）となっており、空き家とかの解体により防犯灯を移設する場合の補助はできません。</p> <p>また、防犯灯のLED化を進め、防犯灯のライトが切れているとかずっと点灯しているなどの維持管理にかかる事務処理（年間90件程度）は、自治会から連絡を受けて地域コミュニティ課で行っていますが、移設に関する相談も年数件あり、現状は自治会での対応をお願いしている状況にあります。</p>
<p>日野会長</p>	<p>事務局から説明がありましたが、防犯灯移設に係る補助制度の新設について、第1分科会意見として施策懇談会に提案することについて、何かご意見ございませんか。</p>

各委員	(賛成)
日野会長	ご意見ありがとうございました。この件は、分科会意見として提案したいと思いません。 他にご意見はありませんか。
委員	防犯灯につきましては、夜間の暗い道を照らすことで、犯罪の防止に効果があるとともに交通事故防止の効果もあります。川東地区では、歩行者が横断する場所が暗いところで発見が遅れ、交通死亡事故が発生した事例もごございます。街角の地域でも暗いところだけでなく、一歩進めて危ないところにも防犯灯を設置してもらうことが道路交通には、大切になっております。
日野会長	ご意見ありがとうございました。皆さんもお住いの地域において、暗くて危険と感じる場所などお気づきになりましたら地域の自治会に相談していただいて、防犯灯の設置をお願いしていただけたらと思います。
委員	住んでいる地域の防犯灯の支柱が細いので、風の強い日は揺れていて不安なのですが、どうしたものでしょうか。
地域コミュニティ課	防犯灯の維持管理事業につきましては、灯具の新設とともに支柱更新の補助もできますので、危険であれば更新申請されてください。
日野会長	いろいろご意見ありがとうございました。それでは、事務局でいただいた意見を整理していただき、次回の会で再度協議させていただいたらと思います。事務局よろしいでしょうか。
事務局	いただいた意見をもとに整理させていただき、次回の会までに見直し案を作成させていただきます。
日野会長	次回の会で再度、見直し案をお示し、決定したいと思います。 次に、資料4ページ目の「敬老地域ふれあい事業費」についてでございますが、事務局へのご質問やご意見ありませんか。
委員	敬老事業は、市からの助成がなくなってもやっているところもあるようでしたが、やらなくなったところがほとんどでした。この交付金の効果により事業が再開でき、地域の活性化に役立っており、ありがたく思っています。
日野会長	この敬老事業は、高齢者の方が自治会館などに集まっただき親睦を深めていただく折角の機会であり、3年目となり徐々に事業も浸透するとともに自治会によって趣向を凝らし多くの方が参加されるように工夫されているようです。現在、一人あたり1千円の交付金となっておりますが、使い道が自由であり、大変ありがたい交付金です。ただ、16年の災害前は、一人2,600円交付されており、もう少し予算が増やせないかという声も聞きますので、交付金の増額を検討していただきたいと思いません。

資料 3

委員	一人あたりの事業費を上乗せて、発展させていただきたい。
日野会長	ご意見ありがとうございました。事務局でご意見を整理していただき、次回の会で再度協議させていただいたらと思います。事務局よろしいでしょうか。
事務局	いただいた意見をもとに整理させていただき、次回の会までに見直し案を作成させていただきます。
日野会長	次回の会で再度、見直し案をお示し、決定したいと思います。 次に、資料5ページ目の「防犯協会等活動費」についてでございますが、事務局へのご質問やご意見ありませんか。
各委員	(質疑なし)
日野会長	特にご意見もないようですので、この事業につきましては、この内容で決定したいと思います。 次に、資料6ページ目の「地域防災力向上推進事業費」についてでございますが、事務局へのご質問やご意見ありませんか。
委員	私は、以前、協会に入る前に、防災関係や台風とか発生の際に現場対応する立場にありまして、女性防災士を確保しようとする着眼点に感心しております。そこで、お尋ねしたいのは、非常にたくさんの防災士を確保しており、校区外の自主防災組織への参加となっておりますが、自主防災組織への活動以外にも定期的に防災士の方は一般の方を指導しながら、防災減災を指導する立場にあると思いますが、自治会の中でこの方を中心に指導とか教養を行っているのか教えてください。
防災安全課	防災士の活動についてでございますが、今年度からそれぞれ校区ごとに防災訓練を実施いたしております。校区によっては、単位の自治会においても防災訓練を実施しています。防災訓練では、防災士の方のスキルアップの研修等を交えて、そういった活動を行うことで知識を養い、学んだことをそれぞれの地域に持ち帰ってもらい活動の幅を拡げてもらえるよう行っております。また、毎月、各校区の代表の方に集まっただき、それぞれの校区の課題について検討し、その課題についても地域にフィードバックし、どういった活動をするかについて話し合いをしています。
委員	当校区では、高津まちづくりの一つの組織ですが、災害対策実行委員会を作っておりまして、その中に防災士の方や自治会関係者の方など集まっただき、校区全体で7月末に災害の訓練としてキッズ防災キャンプ(1泊2日)を行う予定です。そこでは、小学生、高校生、自治会、各団体の方に集まっただき、防災士さんもこの中の一員として入っただき、災害対策実行委員会は、月1回開催しており、消防団を含め、いろんな団体から委員になっただき、話し合いをしながら実施も訓練も行っています。

資料 3

委員	女性防災士さんは、何名いらっしゃいますか。また、どの自治会にもいらっしゃいますか。
防災安全課	市内全体で60数名いますが、自治会によって、防災士の数はばらつきがあります。熱心な自治会は、複数の方がいらっしゃいますし一人もいらっしゃらない単位自治会もございます。自治会によって規模が違いますので、必ずしも一つの自治会に必ず防災士が一人必要ということではなく、防災活動は複数の自治会が集まるブロック単位で行うことを想定しておりますので、そうした場にリーダー的役割を果たしていただける防災士の方が一人は参加してもらえよう防災士の養成を図っております。
委員	最近、防犯カメラが防犯に力を発揮しているようですが、新居浜市の防犯カメラの設置状況と今後カメラを増やすことについてどう考えているか教えてください。
防災安全課	防犯カメラの件は、第4分科会での検討事項となっておりますが、防犯協会の方で取り組んでおりまして、平成27年度に公園とか出会いロードとか5箇所11台設置しております。店舗とかの監視カメラの設置につきましては、事業所がそれぞれやっております。例えば、商工会議所と連携して商店街連盟とかで行っております。市の方では防犯協会に補助金をお出しし、防犯カメラの設置場所を選定してもらい設置していただいています。
委員	防災と防犯というのは、厳密に違うと思いますが、大きな視点からひっくるめることはできませんか。
防災安全課	災害を防ぐ取り組みを防災といい、犯罪を防ぐ取り組みが防犯であり、ひっくるめることは難しいと思われます。
委員	防災士は、330数名確保できたからこれ以上増員について必要がないという考えですか、それともこれかも引き続き防災士を確保する予定ですか。
防災安全課	今年度も50名確保していく予定です。
委員	引き続き、地域に必要な防災士の養成を続けてください。
委員	公民館も避難場所となっておりますが、防災キャンプでは小中学生がシャワーするために小学校のプールのシャワーを利用するなど必要があると思われるので、できたら太陽光を利用したシャワー設備をつけていただきたい。また、太陽光を利用したパソコンを使える設備をお願いしたい。
社会教育課	シャワー設備については、以前から伺っていますが、公民館の施設整備全体の中で、優先順位を付けて、費用対効果を考えながら整備計画を検討してまいります。また、電気が止まったときの非常用電源として、太陽光を利用することと思いますが、これについても調査検討してまいります。

資料 3

委員	<p>新居浜市連合自治会におきましては、自治会に関する共通の地域課題や自治会加入促進策などの課題について、小委員会を設けて協議しています。昨年は、環境防災福祉小委員会で防災をテーマとし、「自治会館の耐震化」について、協議することになりました。ご存じのとおり、自治会館は、地域住民の一時避難場所となっているところもあります。ただ、避難しようにも耐震化基準を満たしていないところには、地震の際は安心して避難できないこととなります。平成24年度の市の調査によると市内にある190自治会館のうち、新耐震基準（昭和57年1月以降に新築された建物）を満たしていない自治会館が83箇所あります。</p> <p>自治会館は、個人の一般住宅と違い、国の補助制度がなく、自治会館を耐震化するためには、自治会が自力で行う必要があるが、財政的に難しい状況にあるため、自治会館の耐震化補助制度の新設について、市に要望してはどうかとの意見があり、先月の理事会においても承認されたため、今回、自治会館の耐震化補助制度の新設について要望したいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
日野会長	<p>皆さんからこの件に関して、意見をいただく前に事務局からこの件につきまして、補足することはありますか。</p>
事務局	<p>おっしゃる通り、自治会館の耐震化は、まだまだ進んでいないのが現況です。まず、現在の一般住宅への耐震化補助制度については、耐震診断に係る経費が8万円程度、耐震改修設計に係る経費は数十万程度、耐震改修工事は100～150万円程度が多く、補助率は2/3となっています。</p>
日野会長	<p>災害が起きた時は、学校や公民館に避難することになるが、その前に一時的に避難場所として自治会館を利用される人もいるが、その避難場所が耐震化できていないことは連合自治会として懸念しており、今回、提案することとなったものです。</p> <p>事務局から説明がありましたが、自治会館の耐震化補助制度の新設について、分科会意見として施策懇談会に提案することについて、何かご意見ございませんか。</p>
各委員	<p>(賛成)</p>
日野会長	<p>ご意見ありがとうございました。この件は、意見として提案したいと思いますが、次回の会で再度協議させていただいたらと思います。事務局よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>いただいた意見をもとに整理させていただき、次回の会までに見直し案を作成させていただきます。</p>
日野会長	<p>次回の会で再度、見直し案をお示し、決定したいと思います。</p> <p>それでは、予定していた時間も過ぎておりますので、このあたりで今日の会議を終了したいと思います。</p> <p>今日の会でいただいたご意見につきましては、事務局で整理させていただいて、次回の会議でお示ししたいと思います。また、この会の終了後に今日の資料などをご確</p>

資料 3

	<p>認され、ご意見がある場合は、8月10日（水）までに地域コミュニティ課まで電話などでご連絡いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で平成28年度政策懇談会第1分科会第1回会議を終わります。次回の会は、8月30日を予定しております。詳細につきましては、後日、事務局よりご案内いたしますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>委員の皆様には、今後ご協力のほどよろしくお願いいたします。本日は、大変お疲れさまでした。</p>
--	--

(閉会15:15)